

**第40回海洋開発シンポジウム（2015）ならびに
「土木学会論文集B3（海洋開発）」特集号（Vol. 71, No. 2）の論文募集のご案内**

海洋開発委員会では、最新の研究及び調査や施工に関する技術報告の場として土木学会論文集B3を発刊するとともに特集号掲載論文の発表ならびに討議を行う海洋開発シンポジウムを開催いたしております。多くの研究者、技術者が一堂に会して有益な情報を提供し、活発な討論を行うことによりこの分野における土木工学の発展に寄与しております。

つきましては、2015年度は下記のように海洋開発シンポジウムを開催するとともに土木学会論文集（B3）特集号への投稿論文を募集致します。土木学会論文集（B3）では、海洋開発に関わる最新の研究成果の他、実務者・現場からの有用性の高い報告や将来の発展に寄与するような新規性のある技術も重視しております。さらに、海洋開発に対する認識の変化に対応して時宜を得た話題を取り上げた特別セッションも設定しております。一般論文はもちろんのこと、特別セッションの論文についてもふるって講演応募くださいますようお願いいたします。

2015年1月15日
土木学会 海洋開発委員会

第40回海洋開発シンポジウム（2015）の開催概要

1. 主 催

土木学会（担当：海洋開発委員会）

2. 期 日

2015年6月22日（月）～6月23日（火）

3. 場 所

神戸市国際会議場（神戸市）

（〒650-0046 神戸市中央区港島中島6-9-1）

ホームページ：<http://kobe-cc.jp/kaigi/>

4. 参 加 費

無料

5. 講 演 集

CD媒体での事前および当日販売

予価2,000円（消費税・送料込）

6. 開催地案内

第40回の開催は、湊町神戸での開催になります。異国情緒が漂う北野・異人館の街と共に、メリケンパークの港町風景や、ポートタワーの東には開港時代に外国貨物の荷揚げ港として造られたメリケン波止場跡があり、当時の西洋文化はここから日本に上陸してきました。また、日本の三大夜景に数えられる六甲山からの夜景や、酒どころ灘、日本最古の湯有馬温泉など、文化と歴史と自然が溶け合い、多彩な魅力で満たされている湊町神戸で、学术交流と初夏の神戸をお楽しみください。

「土木学会論文集B3（海洋開発）」特集号（Vol. 71, No. 2）の論文募集要綱

1. 募集課題

（1）特別セッション指定課題

S1. 「洋上風力発電の実用化へ向けて」

中長期的な温室効果ガスの排出削減を原子力発電だけに頼らずに実施するためには、再生可能エネルギーの導入を強力に推進しなければなりません。陸域が狭い中で広大な排他的経済水域を有する我が国において、導入ポテンシャルが大きく実用化が最も近づいている海洋再生可能エネルギーが、洋上風力発電です。

本年の特別セッションは、昨年（2014年）の海洋開発シンポジウムの特別セッションで紹介された我が国沿岸のさまざまな海域で実施されている洋上風力発電に関する実証的な研究のその後の進展をふまえて、昨年の特別セッションでその必要性和重要性が確認された洋上ウィンドファーム事業の成功事例の創出をめざして、今後どのように行動していくべきかを探るものです。

S2. 「高潮防災」

近年、世界各地で大規模な沿岸災害が発生しています。このような災害は、今後地球温暖化の進行に伴い、さらに頻度・規模が甚大化することが懸念されています。これからの地球温暖化時代を生きていく私たちには、強大化する自然の脅威に適応した社会を構築していくことが求められています。

本セッションでは、地球温暖化時代の沿岸災害、特に高潮に関する防災・減災を対象として、これまでに蓄積されてきた高潮に関する諸情報や諸技術をレビューし、今後取り組むべき課題を抽出し検討するものです。

（2）一般課題

G1. 海洋における政策・事業・総合的管理

キーワード：海洋の総合的管理；海洋・港湾・海岸の計画・政策・事業・管理；
物流（港湾・海上輸送）など

G2. 海洋施設の計画・設計

キーワード：風況・波浪観測，風況予測，波浪推算，極値統計，気候変動；波浪変形，海浜流；耐波設計（流体力，波力・越波），波浪制御構造物；津波波源モデル，津波の伝播；耐津波設計，耐津波構造物；高潮，長周期波，副振動，潮位変動；海浜変形，漂砂，シルテーション，局所洗掘，飛砂；浮体，船舶，係留施設，係留装置；構

造力学（鋼・コンクリートなど）、耐震（構造）；土質・基礎，地下水，遮水，耐震（地盤）；連成問題（地盤－流体－構造など）；確率論的設計（信頼性設計，性能設計など）など

G3. 海洋施設の施工・維持管理

キーワード：施工計画・施工方法，施工技術；維持管理手法，維持管理技術；作業船・機械・装置；材料・リサイクル，材料力学など

G4. 海洋の調査・技術開発

キーワード：調査・計測・モニタリングの手法；新技術，イノベーション；実験技術（実験水槽，新型計測機器など）など

G5. 海洋環境の保全・再生

キーワード：自然再生事業，順応的管理，ミチゲーション；環境影響評価；海域の流動，密度流，物質拡散；海域の水質・底質；海域の生態系（海洋，浅場，藻場，干潟，植生）；地球温暖化，温室効果ガス，ブルーカーボン；油汚染，漂流ゴミ，漂着物，廃棄物，放射性物質など

G6. 海洋の利用

キーワード：鉱物資源，海洋エネルギー，海水資源（淡水化，深層水）；海洋生物資源（水産）；海洋空間・離島・氷海域の利用；深海技術；景観，アメニティ，作業環境，レクリエーション；海洋産業，海洋教育など

G7. 海洋における防災

キーワード：自然災害（津波，高潮・高波，地震など）の事例（被害調査，再現計算，再現実験など）；リスクアセスメント，リスクマネジメント，防災・減災技術，安全技術など

2. 申し込み要件

- (1) 論文は原則として未発表のものに限り，二重投稿は認めません。
- (2) 1編あたりの著者数は，最大8名とします。また，原則として，著者には土木学会員が1名以上含まれていなければなりません。
- (3) 論文要旨の受付終了以降は，原則として「論文題目」，「著者名」，「著者の序列」の変更はできません。なお，予定発表者の変更は止むを得ない場合に限り，共著者までを範囲とし認めます。
- (4) 使用できる言語は，日本語または英語とし，論文要旨および本論文は，同じ言語で記述しなければなりません。ただし，英語を使用できるのは，第一著者が日本語を母語としない方の場合に限りです。

- (5) 採択された論文は、同一年度の海洋開発シンポジウムにおいて、講演することが義務付けられます。また、講演者が重複する論文の申し込みは受理いたしません。
- (6) 講演集代を含む掲載料は1編につき25,000円(予定,消費税・送料込)とし、シンポジウム終了後に請求致します。
- (7) 「土木学会論文集投稿要項」に基づき、論文集に掲載された著作物の著作権(著作権法第27条,第28条に定める権利を含む)は土木学会に帰属いたします。

3. 論文の申し込みからJ-STAGE掲載までの流れ

- ①論文申し込み(論文要旨) 提出期限:2月5日(木)17時【必着】
- ②第1次審査
- ③第1次審査結果通知(3月2日ごろを予定)
- ④論文原稿提出(本論文) 提出期限:4月3日(金)17時【必着】
- ⑤第2次審査
- ⑥第2次審査結果通知(4月24日ごろを予定,修正事項がない場合⑧へ進みます)
- ⑦修正論文提出(第2次審査結果通知の際に提出期限をご連絡いたします)
- ⑧最終原稿提出 提出期限:5月11日(月)12時【必着】
原稿提出方法は、採択結果通知時にご連絡いたします。
- ⑨論文の口頭発表・討議(於:海洋開発シンポジウム)
開催日:6月22日(月),6月23日(火)
※シンポジウム講演集(電子媒体)の申し込み(WEB受付:5月中旬)
- ⑩J-STAGEへの掲載

採択された論文は、「土木学会論文集B3(海洋開発),Vol.71,No.2」として、2015年8月(予定)にJ-STAGEに掲載予定です。

4. 申込方法

海洋開発委員会の電子投稿システム (<http://journal.ce-ocean.jp>) を使って、論文要旨のpdfを電子投稿して申し込みます。e-mail, 郵送, FAX, 持参については受け付けることができません。

論文要旨は、上記HPに掲載されているアブストラクトサンプルにしたがってA4用紙2枚で作成し、下記の事項をもれなくご記入ください。

【1枚目】

1. 募集課題分類

募集課題の分類 (S1, S2, G1~G7のいずれか) を1行で記入してください。

2. 論文題目

論文査読システムで入力した論文題目を1行で記入してください。

3. 論文要旨

論文要旨には「研究(調査, 工事)の目的」、「研究(調査, 工事)の内容」、「主要な結論」を項目別に明記して下さい。論文要旨は、日本語、英語のいずれも「1行当たりの全角文字数45文字、行数35行以下(項目を含む)」で取りまとめてください。ここには、図表を挿入してはいけません。また、数式を記述する場合は、これを2枚目に記述し要旨内で引用することが出来ます。

【2枚目】

4. 主要な結論に至る図表等

主要な結論に至る図表等を必ず貼付(カラー可)してください。図表等には、見出し(表-1, 図-2)と標題をつけて、「3. 論文要旨」にて適切に引用してください。

なお、論文要旨には、著者名など著者を特定できるような情報は記入しないでください。

5. その他

- (1) 論文要旨と本論文を査読基準に従って査読の上、海洋開発委員会において審査を行いますので、「採否」についてはご一任下さい。
- (2) 「土木学会論文集B3(海洋開発)」特集号(Vol.71 No.2)に採択された論文は、事務局でヘッダー及びページ番号を追加し、J-STAGE上で電子発行される予定です。紙媒体の発行は行いません。
- (3) 「海洋開発シンポジウム」開催時には、J-STAGEでの電子発行が行われなため、ヘッダ・ページ番号の記載のない電子媒体「海洋開発シンポジウム講演集」を発行します。講演集代は論文の掲載料に含まれます。ただし、講演集は、正式発行される刊行物ではありませんので、参照・引用文献としての利用はできません。J-STAGEに掲載される論文を利

用してください。

- (4) 特別セッションは、セッションオーガナイザーのコンセプトによりセッション内の採択論文を決定します。セッションのコンセプトに適合しなかった論文については、一般セッションの論文として採否を判定します。
- (5) シンポジウムでの発表は日本語を基本とし、論文が英語で記述されている場合のみ英語での発表を可とします。
- (6) シンポジウムではご発表後に論文に対する討議の時間を設けます。

以上